

『カラマーゾフの兄弟』おもな登場人物



アリオージャ (アレクセイ・フォードロヴィチ・カラマーゾフ)……フォードルの三男。誰からも愛される清純な青年。町の修道院で暮らす。ゾシマ長老を心から尊敬する。

ミーチャ (ドミートリー・フォードロヴィチ・カラマーゾフ)……フォードルの長男。先妻アデライーダの子。退役将校で、放蕩のかぎりをつくす激しい性格だが、高貴な心をあわせもつ。

イワン (イワン・フォードロヴィチ・カラマーゾフ)……フォードルの次男。アリオージャと同じく、後妻ソフィアの子。大学で工学を学んだインテリで、シニカルな無神論者。

フォードル (フォードル・パーヴロヴィチ・カラマーゾフ)……カラマーゾフ家の父親。地主。無一文から身を起こし、一財産を築いた。無類の悪党にして道化、女好き。

DIC
240

DIC
200

カラマーゾフの兄弟1

しおり (表面)

スメルジャコフ……カラマーゾフ家の下男。同家の召使グリゴーリーとマルファの夫婦に育てられる。モスクワで料理を習い、同家で料理人を務める。

ゾシマ長老……町の修道院の長老。慈愛にみちた高德の人物で、信者の尊敬を一身に集める。かつて決闘事件を起こした体験をもつ。

グルーシエニカ (アグラフェーナ)……町の老商人の囲われ者だった、妖艶な美人。カラマーゾフ家の父親、兄弟たちと深くかわる。

カテリーナ (カテリーナ・イワノヴナ、カーチャ)……ペテルブルグの女学校を出た知的な美人。中佐の父がある横領事件でミーチャに助けられたことで、彼に恩義を感じている。

リーズ (リーザ)……町の裕福な未亡人ホフラコーワ夫人の娘。十四歳。体は弱いが茶目っ気があり、アリオージャを愛している。

DIC
240

DIC
200

カラマーゾフの兄弟1

しおり (裏面)